

秋田県立博物館友の会 県内研修旅行報告

友の会副会長兼幹事長 岩間錬治

県内研修旅行の概要

(1)研修視察先

①大湯環状列石遺跡

②伊勢堂岱遺跡

(2)期日 2024.6.10(月)～6.11(火)

(3)参加者

友の会会員4名、友の会非会員3名、随行者 博物館職員2名

(4)宿泊先 ホテル鹿角

(5)交通手段 JR、秋北バス、内陸縦貫鉄道及び徒歩

視察概要 大湯環状列石

(1) 視察施設

- ① 大湯ストーンサークル館
- ② 野中堂環状列石
- ③ 万座環状列石 等



(2) ガイド 大湯SCの会 関 美津恵 さん レプリカを囲んで



万座環状列石



数の概念を表す土版

視察概要 伊勢堂岱遺跡

(1) 視察施設

- ① 環状列石A、B、C、D
- ② 縄文館 等

(2) ガイド

学芸員 榎本剛治 さん



土偶展示



土偶人気投票 笑う土偶

まとめ

各施設の詳細については、それぞれのHPで確認されたい。

特に印象に残ったこと

- ①1万年以上の長きにわたって、縄文人が採集・漁労・狩猟を生業として、定住した
- ②両遺跡を、続けて見学したことにより、同じストーンサークルでも、使用されている石、その組み方に違いがあることを確認
- ③遺跡を保存するため、先人たちの先見の明と努力があった
とりわけ、伊勢堂岱遺跡については、県道が迂回され、高速道路はランドスケープを維持するため、一部をトンネル化した
- ④縄文人はどこからきて、どこにいったのか、興味として残った

県内研修旅行を振り返って

- 世界遺産になっている両遺跡は大変貴重で、今回の訪問では学びきれない。また、今後の研究によって明らかになることも多く、このような遺跡が秋田県にあることを誇りに思った
- 今回は公共交通機関を利用した移動であった。いろいろ制約はあったが、気づかされるが多々あった。参加者の中には、初めて内陸縦貫鉄道や秋田市以北の電車に乗車したという方もいた
- また、県内視察は日帰りで従来実施してきたが、交通手段等を考慮し一泊旅行とした。やはり参加者の親睦が非常に深まり、その点でも有意義であった
- その後、『大湯環状列石保存活用計画(令和6年3月)秋田県鹿角市教育委員会』
『Q&Aで読む縄文時代入門山田康弘・設楽博巳編』
『弥生人はどこから来たか藤原慎一郎』を読んだ



2日目の朝ホテルの前で
(すっかり仲良しに)